

成功するハイブリッドクラウド戦略の7つの特徴

ハイブリッドクラウドは、パブリッククラウドのメリットを求め大企業が、オンプレミス環境やプライベートクラウド上の既存ワークロードの稼働継続を望む場合に、優先的に選ばれるインフラストラクチャとなりました。Gartner の予測によると、2020 年までに 75% の組織がマルチクラウドモデルないしハイブリッドクラウド・モデルを導入するといえます。¹ ハイブリッドクラウド環境は、相互運用性、ワークロードの可搬性、戦略的柔軟性といった特徴を通じて、デジタル・トランスフォーメーションの実現を単純化します。

クラウド・ソリューションのポテンシャルを高めるにあたって、実績ある有用な戦略がいくつか存在します。適切な実装戦略を練ることは、互換性と可搬性の欠如や IT セキュリティリスクの増大といった落とし穴の回避に役立ちます。

組織のハイブリッドクラウド戦略を成功に導くため、戦略構築の際は、以下の 7 つの事項を考慮することをお勧めします。

1 一貫性のあるアーキテクチャを選択する

企業は、ハードウェア、開発作業、商用ソフトウェアに多額の投資を行っています。ハイブリッドクラウド・アーキテクチャ特有のメリットとして、モダナイゼーションの基盤を提供すると同時に、既存資産の継続使用も可能とすることが挙げられます。このような可搬性と柔軟性を実現するには、パブリッククラウドを導入する際、アーキテクチャに一貫性を持たせる必要があります。共通の運用環境で標準化することによって、既存の基盤でビジネス運営を継続しつつ、クラウド移行にまつわる複雑さを軽減できます。

2 オーケストレーション戦略を決定する

オーケストレーションを行うと、インフラストラクチャの全体でタスク同士を連携させ、タスクの実行場所を問わず、統合されたワークフローを作成できます。オンサイトシステムとクラウドシステムの間で効果的なオーケストレーションを行わない場合、クラウド・ソリューションが進化していくにつれて、ビジネスクリティカルなアプリケーションやデータソースへ接続できなくなってしまうリスクがあります。しかし、一貫性のあるオーケストレーションを行えば、負担となるような複雑さを生じさせることなく、クラウド上のリソースを使用できるようになります。包括的なオーケストレーション戦略 (コンテナ・オーケストレーションなど) では、アプリケーションとサービスに可搬性がもたらされるため、手直しのコストを費やす必要なく、任意のクラウドで実行できるようになります。

3 監視と管理を単純化する

IT チームやビジネスチームのニーズに合わせてさまざまなクラウド・プラットフォームを使用することには、多くのメリットがあります。しかし、すべてのプラットフォーム (クラウドおよびオンプレミスシステム、プライベートクラウド・システムなど) には、それぞれ独自の監視ツールと管理ツールが付属しています。異種混在環境を複数のツールで管理すると、作業が不必要に複雑化し、運用チームが必要とするエンドツーエンドの可視性も低下します。すべてのシステムをスムーズに実行し続けるためには、インフラストラクチャとアプリケーションスイート全体で機能する単一の管理ソリューションが必要です。

¹ Gartner, 「Market Insight: Making Lots of Money in the New World of Hybrid Cloud and Multicloud」、2018 年 9 月 7 日。

4 ポリシーとガバナンスを遵守する

IT ポリシーのコンプライアンスは、法律の遵守から決められた商慣習の遵守、規制基準に従った作業まで、あらゆる領域を考慮する必要があります。データとワークロードをクラウドに移行する際には、ビジネスおよびデータ関連のリスクを軽減するため、統一かつ一貫した方法でコンプライアンス遵守を維持することが極めて重要となります。ハイブリッドクラウド戦略の一環としてポリシーとガバナンスを組み込んでおくことにより、アーキテクチャ変更の過程においても、システム、ソフトウェア、および人員のコンプライアンス遵守をサポートできます。

5 包括的なセキュリティを実装する

コンサルティング会社のマッキンゼーは、パブリッククラウドを使用することは従来型のサイバーセキュリティに打撃を与えると評していますが²、とはいえハイブリッドクラウド・ソリューションのセキュリティ保護は可能です。ハイブリッド環境全体で適切なツールとプラクティスを使用すれば、不格好に後付けされたようなセキュリティではなく、あらかじめ組み込まれたセキュリティを実装できます。ワークロードの実行、管理、向上を行う流れの中、セキュリティは設計上の継続かつ包括的な要素となり、IT ライフサイクルの全体に統合されます。

6 APIを活用してアプリケーションをどこでも実行する

ハイブリッドクラウドは、ストレージとコンピューティング・インフラストラクチャ、およびランタイム・コンテナ・コンポーネントへの柔軟なアクセスを可能にする基盤であり、依存関係を持つワークロード同士を接続します。とはいえ、これらのシステムが自動的につながって連係するわけではありません。全体にわたって同一のアプリケーション・プログラミング・インタフェース (API) を使用することで、アプリケーションの実行場所に関係なく、アプリケーションの設計、構築、デプロイ、スケーリングを単純化することができます。

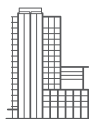
7 インフラストラクチャを自動化する

IT 組織にとって、自動化は極めて重要な取り組みです。特にハイブリッドクラウドが有するスケーラビリティを踏まえた場合、欠かせない要素となります。新たな環境と既存環境の両方の管理を自動化することで、人的ミスが生じるリスクの軽減、規範的なポリシー施行のサポート、予測分析に基づき保守を行うための基盤提供を実現するとともに、迅速なセルフサービス型のプラクティスを好む組織文化への変革を促進します。

Red Hat でクラウドをつなげる

Red Hat® のハイブリッドクラウド戦略で始めましょう。一貫性のある効果的なクラウド戦略を構築するために、Red Hat の柔軟なハイブリッドクラウド・ソリューションがどのように役立つか。関連資料にて詳細をご確認ください。

Red Hat についてさらに詳しく ▶



RED HAT について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、新規および既存 IT アプリケーションの統合、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、Red Hat が提供する業界トップレベルのオペレーティングシステムへの標準化、複雑な環境の自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。受賞歴のあるサポート、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、Fortune 500 企業に信頼されるアドバイザーです。クラウドプロバイダー、システムインテグレーター、アプリケーションベンダー、お客様、オープンソース・コミュニティの戦略的パートナーとして、Red Hat はデジタル化が進む将来に備える企業を支援します。



fb.com/RedHatJapan
twitter.com/RedHatJapan
linkedin.com/company/red-hat

アジア太平洋
+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア
1 800 733 428

インド
+91 22 3987 8888

インドネシア
001 803 440 224

日本
0120 266 086
03 5798 8510

韓国
080 708 0880

マレーシア
1 800 812 678

ニュージーランド
0800 450 503

シンガポール
800 448 1430

中国
800 810 2100

香港
800 901 222

台湾
0800 666 052



Copyright © 2019 Red Hat, Inc. Red Hat、および Red Hat ロゴは、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. またはその子会社の登録商標です。Linux® は、米国およびその他の国における Linus Torvalds 氏の登録商標です。